

19/10/21 河村市長定例記者会見 名古屋城部分

(名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし)

記者: 市政全般について各社質問をお願いします。

記者: 今日「ステップなごや」ですか、木造の階段の報道に公開されるということですが、それ、あれ新技術の実験にも使われる階段だと聞いているんですけども、バリアフリーのコンペの先日この秋に計画していたけれども、募集を開始めようとしていたけれど延期するともでていましたけれども、現時点のバリアフリーのコンペっていつ募集開始されるのかのお考えを伺いたい。

市長: いつからやるの。

(職員: 別に今月中に有識者会議をやって、そこで募集要項とかスケジュール意見をお伺いします)

今月中に有識者会議をやって、募集要項やスケジュールを意見を、ちゃんとやりますで。なんでかいうと名古屋城は重要な引き金でなんでそれによって犬山城も仮にあがれるようになって、姫路城も上がれるようになる、嬉しいでしょう。そればかじゃなくて例えばフランスのノートルダム寺院もですね、ああいうところも上がれるようになるのだとか。さらに進んで普通の家ですよ、民間の普通の家を今回の災害の場合もそうじゃないですか。上に上がれずに亡くなった方みえるじゃないですか。そういう方でも普通の家との段差をですね階段を今克服できるものができりゃ、そりゃ素晴らしいですよこれ。名古屋城だけじゃないですよ。

記者: だいたい何時ごろに、先日市議会の中でですけど何時頃に始めたいと思いますか。

市長: 来年早々ぐらいは出来るようです。

始められるようだけどな。違うか(まだ正確には日程決まってません)

分けのわからないこと言ってますけどね。なるべく早やらない。一遍見に行きや。

中々優れもんでは見てきたけど、模擬階段はあんなどこまでやるとこないですからね。9千万円か1億かかってますから。これで名古屋は凄いですよ。財政危機というの嘘っだといわっせるでしょうね。

記者: 本年中に始めたいと市議会では言ってみないじゃないですか。

市長: まあまあそういうことですが、年度。

記者;今年度中には始めると。

市長:普通の階段あがれる技術ができれば素晴らしいし、あれ行ってくると中々こんな風かと。あの木はあれは檜ではなく米ヒバらしいけど、本物は檜でやりますから本物は。ああいう階段で全部木造で、その巨大な世界一、世界一ではない東大寺の方が大きさは大きかったのではないかと思うけど、まあ木造建築物ができるんだと思うと、これ意外とええじゃないかと思いましたねわし、歩いて登ってみて。一遍行ってきたってちょう、今日オープンするなら。是非。お茶室位つくったらどうなんだとかいっとるわな。

記者:読売新聞です。関連で名古屋城の本体の完成時期の新たな時期が見通せていない中で、コンペだけを先にやるというのはどういう、あれなんですか。

市長;先言ったがや、名古屋城だけのものじゃない。世界中の人に体の不自由な人に階段を上がっていける、そういうまあ超巨大な光明を作っていくこと。光明、光が当たる。そのためには、よう言われてますけど、河村さん簡易的なこと言ってるけどやっぱいっとるけど今の段階だとね、やっぱ背中でおぶるかなんかの人力を使ってやっぱ対話もできるし、事故があったときに火事なんかが起こった時に、人間がおったほうが逃げれるから不自由な人も。エレベータでは逃げれんませんので。皆死んじゃうので、そういう中でのパワースーツというのかパワーアシストというのか、膝とか腰とかああいうものを力をアシストするやつ、今はだいぶん開発進んでおりますけど、膝はまだないといっておられますが。ひざは結構難しい。そういう技術をこれを機会にテイクザツゲザー。今回の震災の話じゃないですか、1階で親父さんが世話になったなあって亡くなった方見えるじゃないですか。テレビでやっとなけど。上にあがれんかったとそういう人たちにもええものができてくると喜ばれると思いますよ。早やらなちゃならん。1億で高い、高いというけどそういうものまで出てくれば、物凄い世界の人に喜ばれると思いますけど、僕は。

記者;実際、パワースーツの話は現段階では市長としては一番有力だとお考えなんですか。

市長:やっぱ有力でしょうね。中京大学ウエイトリフティングクラブに俺が頼みにいこうかしらと。ほんとに、どうだいつと。何人かでだよ。ばーんとひっくり返るといかに、ガードだけはちょっとチェックしていかないといけないけど、やっぱり名刺だしたりコミュニケーションとれるがね。中京大のウエイトリフティングクラブで日本チャンピオンですわなんて言って。ようどこから来たんですか。あそうですかって。フランスからですかって、ほりゃいいですね、ノートルダムダムの話もできるわな。

その人もスーッといきますから、もし火事なんか起きたら。煙が危ないというけれど人がおると逃げれるじゃないですか。一緒に車いすの人と。1対1じゃなくてやっぱな、ちょっと山勘はいかんけど複数いると思います。3人とか5人とか。みんなであがっていくと。いうのは相当そういうこという人が多い、今の技術段階ではですよ。例えばリニア新技術なんかでリニアの学会の会場に留守電のやり取りできましたけど、理論的にはできるといってました。ちょっと車いす浮かせてスーッと磁力で上がっていく、理論的には。だけどだいぶまだちょっと何年かかかるって言ってましたけど。まあまあそういういろんなことが考えられるでしょう。

記者:わかりました。

市長:盛んに皆さん馬鹿にしましたけどドローンだって今やどこだったか人間を運ぶ奴をいまやっとなんて言ってました。ドローンをね。ヘリコプターの小さいやつですかね、ただそれだと上あがって上のところ着地点をどうするのかってのは若干もうちょっと技術がいる、どうするかと5階になりますけど、今7階ですけど。5階のとこで車いすをひょうと乗せる、どうやってやるかとか、まあそんなの開発してくれるわ。

まあ人力で行くけど変なこと書かんでちょうよ。まだ目がみえるでよ、わしも。あんな人間の力で昔、時代錯誤だとか言ってね。金比羅山で駕籠で上がってますけど、金毘羅山でありや平行で上がっていきますけど。全くわかったらんと。

このままエレベーターの名古屋城の問題については、エレベーターつけるという人はいかに冷たい方かということですよ。

彼らがいってるように11人乗り彼らといって全員じゃないですよ、11人乗り造るには言われているには柱11本梁30本とらないかんのですよ。これらの中の構造体がもたんということになって、中を鉄骨で造らんといかんと行ってました。ということになるともう車いす人たちは未来永劫いわゆる400年前の本物に接するチャンスがなくなりますよ。こういうのがバリアフリーですかこれ。ひどいじゃないですかそれ。

これは車椅子の人に対しても物凄い冷たい仕打ちだと思いますよ。

あんたたちは本物を味わっちゃいけないと言うことになりますから。

したがって、車椅子でない方も全部同じですけど。5階部分が一番いいのですけど全部木曾の檜で造るって言ってましたけど、素晴らしいものになると。そこにエレベーター室というのがポコーンとできるわけです、これ。

なお、そんなこと押し付けるの車椅子の方に、そもそも冷たいじゃないですかそれは。